

教科	国語	科目	文学国語	担当	
履修学年	2年	単位数	2	履修区分	普通科文系
教科書	精選文学国語（三省堂）				
副教材等	状況に応じて適宜使用する				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習評価

評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
a 知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
b 思考・判断・表現	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
c 主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 全体計画

期	月	内容の まとめり	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
					a	b	c		
前 期	4	小説の言葉・詩の言葉	夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について	物語の力について考える	○	○	○	a ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c ・進んで言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、文章の種類を踏まえて内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。	・小テスト ・音読 ・課題取組状況 ・定期考査 ・ノート
			詩はいつでも近いところにある	詩の言葉の特徴を理解する	○	○	○		
前 期	5	小説	山月記	会話と地の文の関係に着目して、人物像を把握する。	○	○	○	a ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、解釈している。(読イ) ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。(読力) c ・進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して解釈しようとしている。	・小テスト ・音読 ・課題取組状況 ・定期考査 ・ノート
			少年という名前のメカ	小説の寓意について考える。	○	○	○		
前 期	5	学びを広げる	小説の書き換え	主人公の設定を変え、小説を書き換える。	○	○	○	a ・文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 b ・読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 c ・進んで文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について体系的に理解し、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫しようとしている。	・小テスト ・音読 ・課題取組状況 ・定期考査 ・ノート
			前期末考査						

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法			
					a	b	c					
後 期	9	詩歌	今日 わたしを束 ねないで 帰途	表現形式や修辞 の効果に着目 し、それぞれの 詩の理解を深め る	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> a <ul style="list-style-type: none"> ・ 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・ 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・ 人間、社会、自然などに対するものの方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・ 他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 c <ul style="list-style-type: none"> ・ 進んで文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深め、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小テスト ・ 音読 ・ 課題取組状況 ・ 定期考査 ・ ノート 			
		詩歌	木に花咲き —短歌十五 首	それぞれの短 歌に詠まれた 情景や心情を 理解する	○	○	○					
		学びを広げる	短歌を制作 する	日常生活の中 で感じたことを もとに短歌を創 作する	○	○	○					
	11	後期中間考査										
		11	翻案	ありときり ぎりす 【参考】セ ミとアリ	翻案小説の魅 力について考 える。	○	○			○	<ul style="list-style-type: none"> a <ul style="list-style-type: none"> ・ 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・ 人間、社会、自然などに対するものの方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・ 他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 c <ul style="list-style-type: none"> ・ 進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小テスト ・ 音読 ・ 課題取組状況 ・ 定期考査 ・ ノート
		5	学びを広げる	翻案作品を つくる	古典を題材に して翻案小説 を書く	○	○			○		
3	小説	こころ	小説の形式や 表現の特色に 留意して、登 場人物の言動 や心情を理解 する	○	○	○						
後期末考査												

4 評点の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a	40	40	40	40
b	40	40	40	40
c	20	20	20	20
計	100	100	100	100

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

- ① 本文を熟読し、安易に他者を頼らず、自力で自らの能力を伸ばすよう取り組むこと。
- ② 課題、演習問題に丁寧にじっくりと取り組むこと。
- ③ 人物造形や心情、風景を理解するように努めること。
- ④ 提出物の期限を厳守すること。